

学校図書館

NOVEMBER
2019



11月1日号

速報版

発行所：公益社団法人 全国学校図書館協議会 <http://www.j-sla.or.jp/> 定価330円
〒112-0003 東京都文京区春日2丁目2番7号 TEL：03-3814-4317 本体300円

自分の色で伸びやかに本の世界描く

千葉県市川市で読書感想画の研究授業



読書感想画の授業(市川市立菅野小学校)

えた空の色を作り、周りの児童と色を比べ、いつの時間帯の空の色かを考えさせた。自分の作りたい色を考えさせ、情景を想像させ、画用紙が空になるように、塗り方を工夫して自由に描いていった。さらに、雲をどうやって描くか、綿を使って

ポンポンと色を付けたり、点々と描いたり、色を塗った隙間が雲のように見えたりと、思い思いの空を描いていた。森高先生は、「色の変化がおもしろいね」「水を混ぜてみたんだ、きれいだね」などと自分の絵が描けているという肯定感を持たせられるような言葉掛けを行っていた。

本番は紙の向きを変えてみたり、空の下に何があるか考えながら描いてみたり、空を作った後に何を入れたら素敵な世界が描けるか、自由にいろいろなことを試していく。絵を描く際のアドバイスを適切なポイントで声掛けしながら、

9月に応募要項を発表した読書感想画中央コンクールへの取組みが、各地の学校で行われている。

10月9日には、千葉県教育研究会市川市学校図書館部会の研究授業「読書感想画の取り組み」が、同市立菅野小学校で行われた。

自分の空の色、描き方を見つける

授業者は3年生の齊藤千津教諭、講師は植草学園大学教授・森高光広先生。事前に読書感想画中央コンクールの指定図書の中から、『くもとそらのえほん』(PHP研究所)を選び、読み聞かせ3回、雲の観察・スケッチ、図書館での調べ学習を行い、いろいろな雲を見て、図鑑や図書、パソコンで調べて雲についての学習を重ねてきた。空や雲に興味関心が高まった段階での授業は、子どもたちの意欲的な態度に表れていた。

まず、試しがきの用紙にアルミホイルをパレットにして自分で考

情報ネットワーク	2
回転書架	3
こども・本 この人に聞く 川鍋雅則さん	4
学校図書館賞にご応募を!	6
全国学校図書館協議会 選定図書	7
2019 絵本50 リーフレット	19
SLBA第2期参加校募集中	20
学校図書館実践講座	21
選定図書から	22
教えて、先輩 Q&A	24

何より自由に自分だけの空の色を作るということに重きを置いた授業で、児童はいきいきと自信をもって空を描いていた。

授業後は研修会で振り返り

授業後は、読書感想画の指導について研修会が行われ、参観者からの感想、齊藤教諭からの事前指導の経緯と児童の反応について紹介された。その後、読書感想画と読書指導について、それぞれの経験を基に一斉指導で行う読書感想画における図書選択の課題、絵画指導の留意点についてのグループ討議が持たれた。

令和元年台風第15号及び19号により被害に遭われた皆様に、心よりお見舞い申し上げます。

全国SLAでは、被害を受けた学校図書館が一日も早く復興するよう、各地の学校図書館協議会と連携を取り合って支援活動を行います。

・学校図書館の被害状況や、支援が必要な状況などの情報を収集します。
・復興支援のための寄附金を広く呼び掛けます。

皆様のご支援・ご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

※支援に関する詳細は、全国SLAのWebサイトをご覧ください。

<https://www.j-sla.or.jp>